

概 要 版

**「リユース食器」  
アンケート調査報告書**  
ーリユース食器を普及するためにー

島根県環境生活部環境政策課

---

## ☆ 目 次

---

調査概要	3
調査結果の要約	4
1. 被験者デモグラフィック特性	5
1) 性別	
2) 年齢	
3) 居住地	
2. 観戦の様子	6
1) 同伴者	
2) 観戦頻度	
3) 飲食物の購入頻度	
3. 環境にやさしいことへの取り組み状況	7
1) 普段していること	
4. リユース食器の認知	8
1) 認知	
2) イメージ	
3) 使用経験の有無	
4) 他のイベントでの使用経験の有無	
5. イベント会場でのリユース食器使用について	10
1) 重視度	
2) 満足度	
3) 未充足度	
6. リユース食器に対する満足／不満	13
1) 満足	
2) 不満	
7. イベントでのリユース食器の使用意向	14
10. 相関関係	15
11. まとめ	17

---

## ☆ 調査概要

---

### 1 事業目的

島根スサノオマジックと連携したモデル事業の実践を通じて得た知見により、市町村や民間のイベントに「リユース食器」を普及し、「リユース」、「(イベント)ごみの減量化」、「3R」等循環型社会の普及啓発を行う。

### 2 調査目的

イベント参加者のリユース食器に関するニーズの強さや充足度を調査する。

### 3 調査方法

リユース食器の導入初期にアンケート調査を行う。

### 4 調査目的

松江市総合体育館で行われる試合の観戦者の中から、無作為に抽出し、アンケート調査の協力依頼を行う。(サンプル目標 200)

### 5 調査課題

- ①デモグラフィック特性等
- ②観戦の様子
- ③リユース食器に関するイメージ、知識、経験
- ④仮説ニーズを設問にした評定尺度法(5段階)調査

### 6 調査方法

アンケート調査

### 7 調査月日

平成 25 年 11 月 9 日(土)、10 日(日)

### 8 調査場所

松江市総合体育館

### 9 調査対象

BJ リーグ試合観戦者 202 名

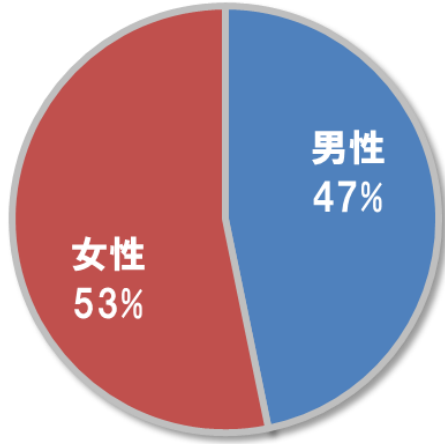
有効回答数 202

## **調査結果の要約**

# ☆ アンケート調査結果

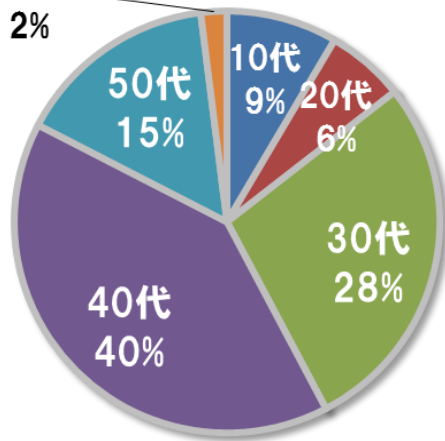
## 1. 被験者デモグラフィック特性

### 性別



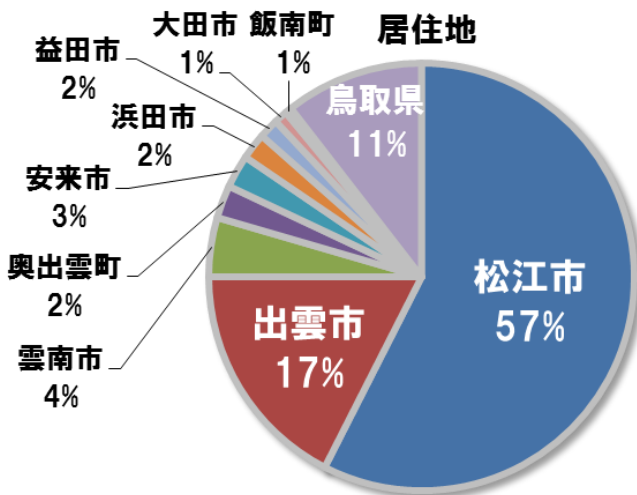
・回答者の性別内訳は、男性 47% (94 人)、女性 53% (107 人)、未記入 1 人である。

### 年齢



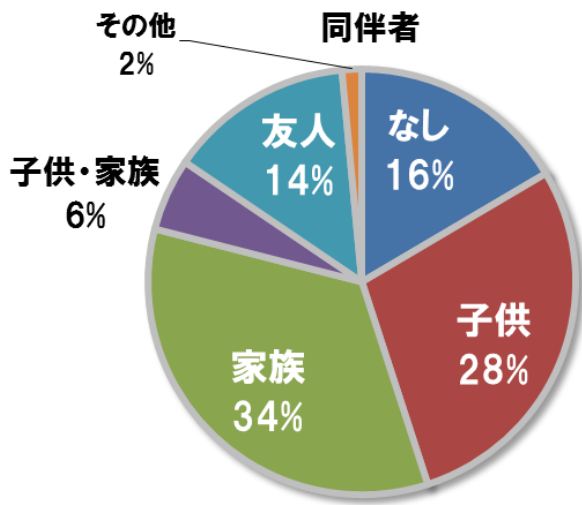
・回答者の年代内訳は、10代 9% (17 人)、20代 6% (12 人)、30代 28% (56 人)、40代 40% (81 人)、50代 15% (31 人)、60代 2% (4 人) である。

### 居住地

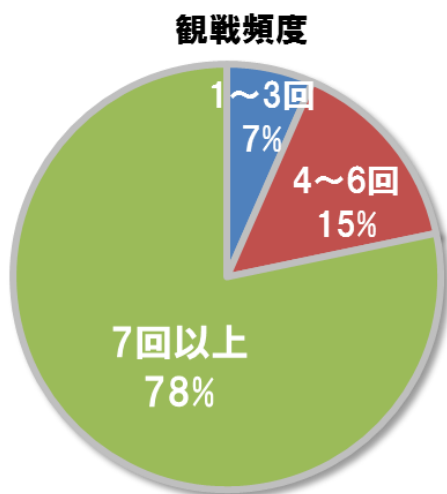


・回答者の居住地内訳は、松江市 57% (115 人)、出雲市 17% (35 人)、鳥取県 11% (22 人)、雲南市 4% (9 人)、安来市 3% (6 人) などである。

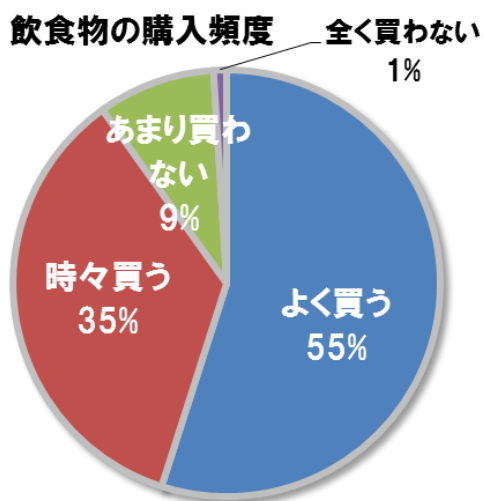
## 2. 観戦の様子



・観戦の同伴者内訳は、子供以外の家族 34% (68 人)、子供 28% (57 人)、なし 16% (33 人)、友人 14% (28 人)、子供・家族 6% (11 人) 等である。



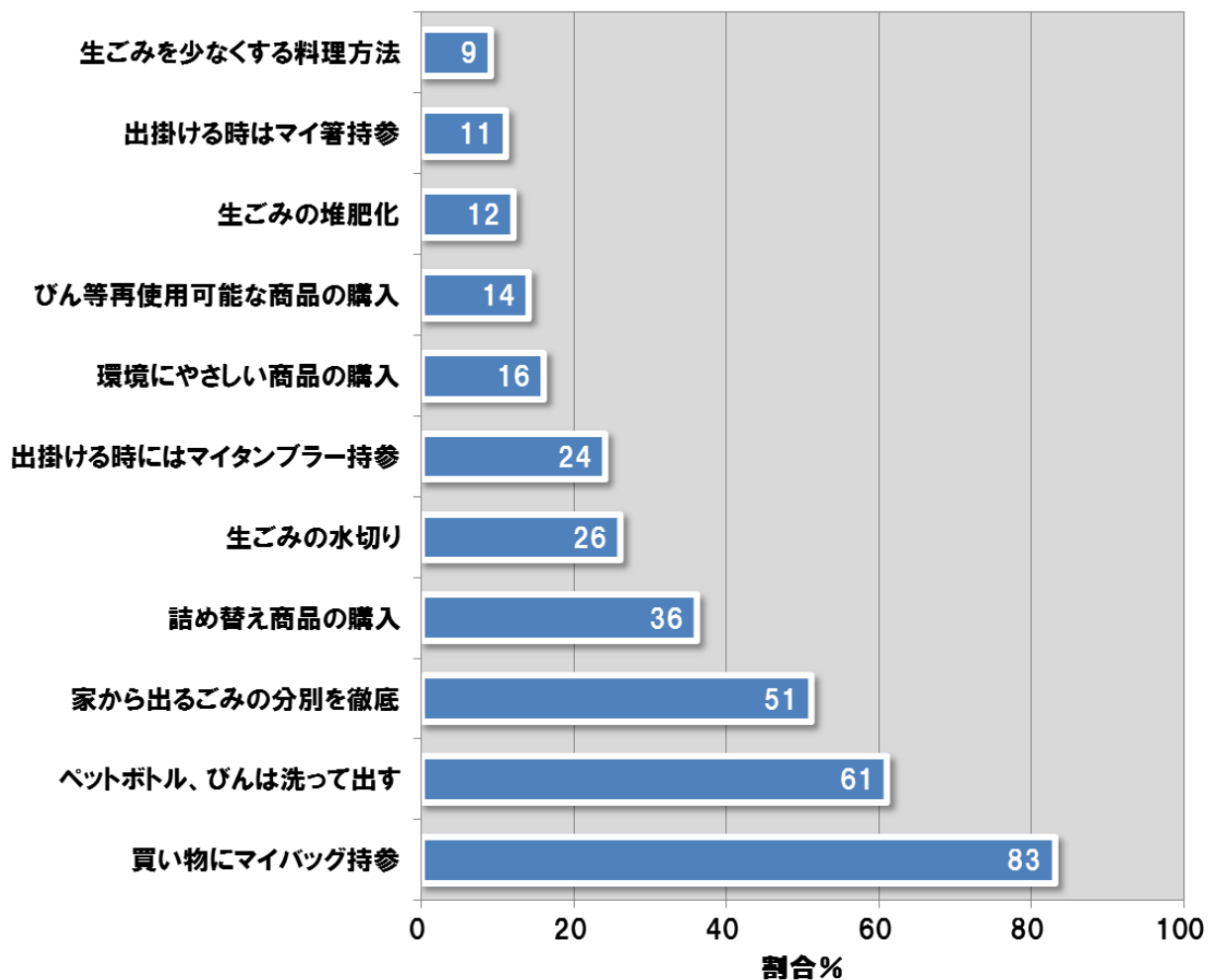
・昨シーズン、松江市総合体育館での観戦頻度内訳は、7 回以上 78% (156 人)、4~6 回 15% (30 人)、1~3 回 7% (13 人)、なし 1 人である。



・松江市総合体育館内での飲食物の購入頻度内訳は、よく買う 55% (111 人)、時々買う 35% (71 人)、あまり買わない 9% (18 人)、全く買わない 1% (2 人) である。

### 3. 環境にやさしいことへの取り組み状況

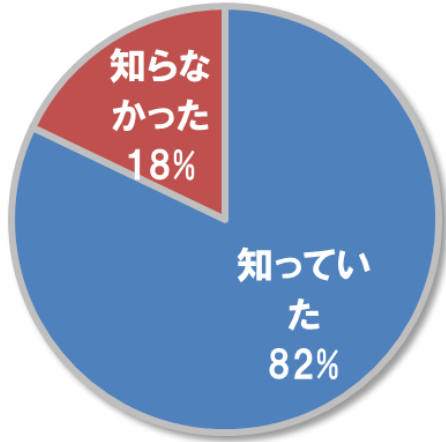
#### ① 普段していること



- ・ 買い物にマイバッグを持参している人は 83% (168 人) で最も多い。
- ・ 次いで、ペットボトル、びんを洗って出すが 61% (123 人)、家から出るごみの分別を徹底しているが 51% (104 人) で多い。
- ・ 詰め替え商品の購入は 36% (73 人) であり、全体の 3 分の 1 であった。
- ・ その他は、いずれも取り組んでいる割合が 30% 以下であり取り組んでいる人が少ない。
- ・ 出掛ける時にマイ箸やマイタンブラーを持参する人は、それぞれ 11% (23 人)、24% (48 人) でありマイ食器の普及はあまり進んでいない。
- ・ 環境にやさしい商品やびん等再使用可能な商品はあまり購入されていない。

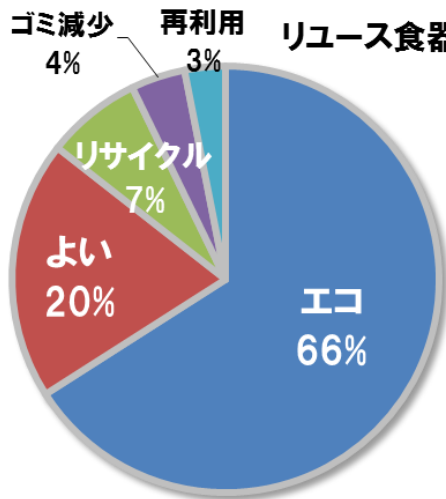
#### 4. リユース食器の認知

##### リユース食器をご存知でしたか？



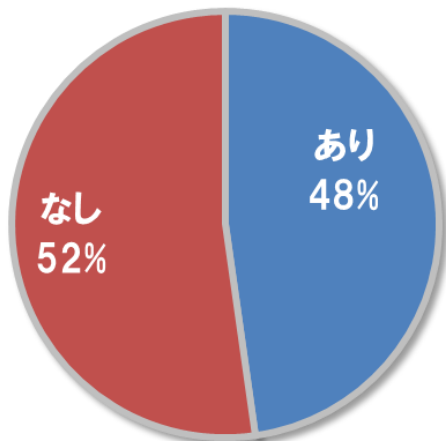
- ・回答者のうち、知っていた 82% (165 人)、知らなかった 18% (36 人)、未記入 1 人であった。
- ・回答者の 8 割がリユース食器を知っていた。この理由は、今シーズンから会場内のお店がリユース食器を利用しているからと思われる。

##### リユース食器のイメージ



- ・リユース食器のイメージは、エコが 66% (64 人) で最も多い。次いで、よい 20% (19 人)、リサイクル 7% (7 人) であった。
- ・リユース食器は環境にやさしいというイメージを持つ人が多い。

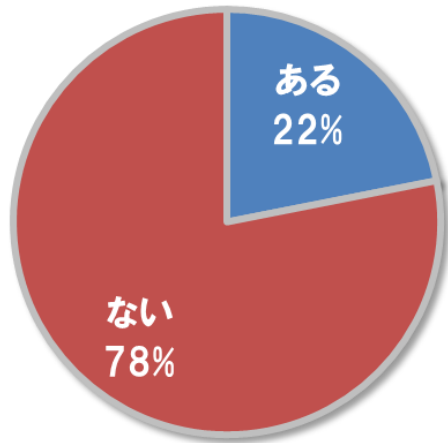
##### 松江市総合体育館内でのリユース食器使用経験の有無



- ・松江市総合体育館内でリユース食器を使ったことがある人は、約半数の 48% (96 人) であった。
- ・リユース食器は今シーズンから一部のお店で使われており、今回で 3 ~4 回目である。その間に半数の人が利用している。



### 他のイベントでのリユース食器使用経験の有無

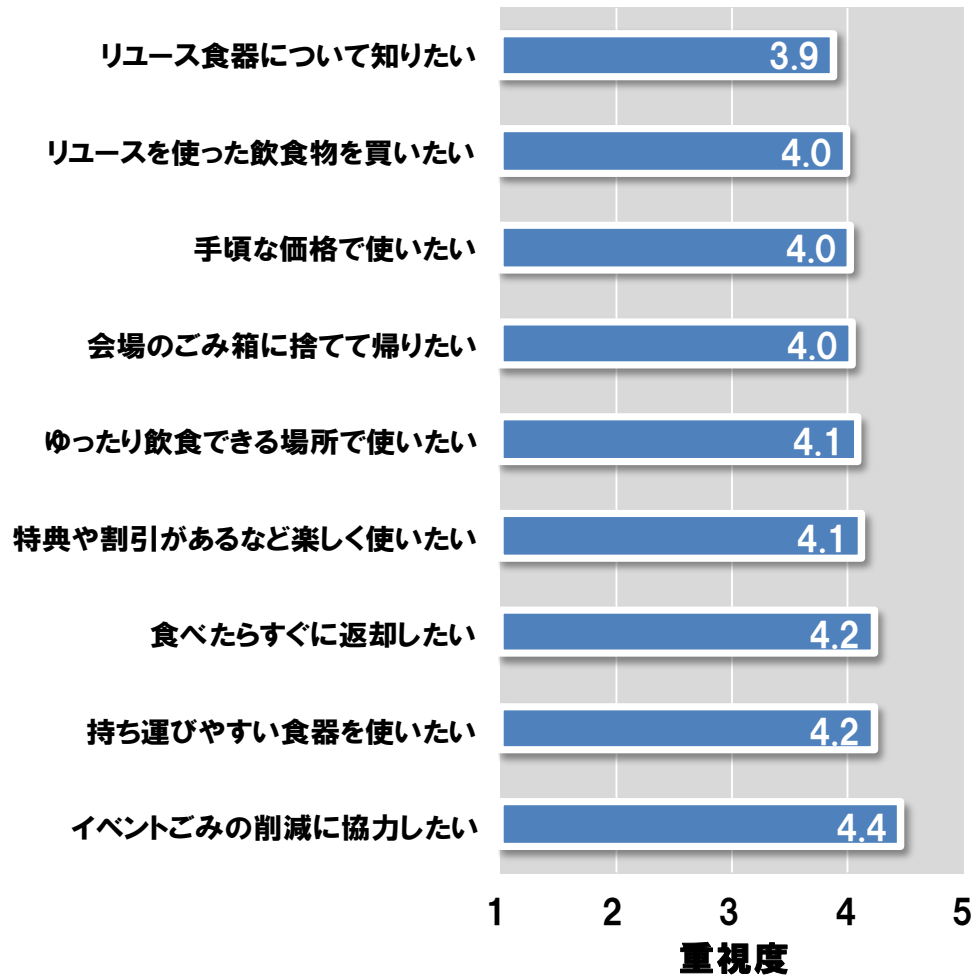


・他のイベントでリユース食器を使ったことがある人は 22% (44 人) であった。

・松江市総合体育館での bj リーグの 48% (96 人) に比べ半分以下であった。

## 5. イベント会場でのリユース食器使用について

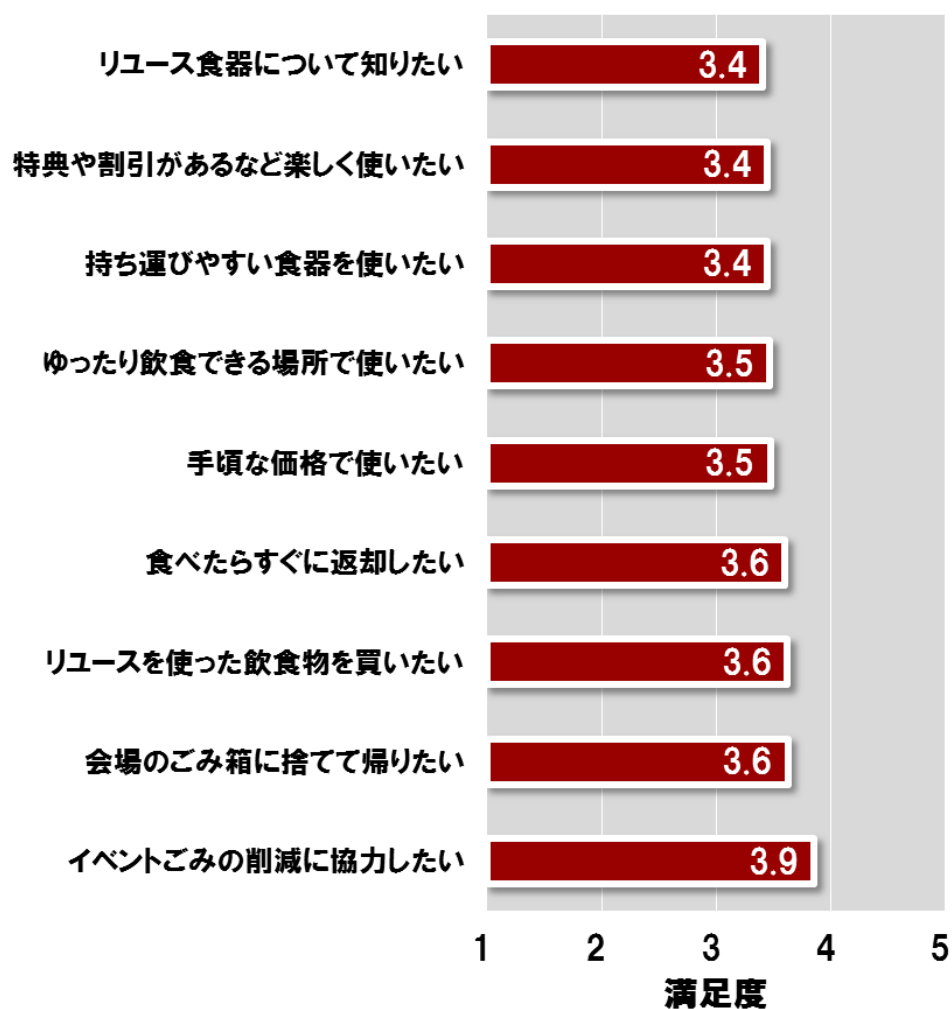
### ①重視度



・重視度が強いのは、「イベント会場から出るごみの削減に協力したい」4.4、「持ち運びやすいリユース食器を使いたい」4.2、「食べたらずぐにリユース食器を返却したい」4.2、「返却すると特典や割引があるなど楽しくリユース食器を使いたい」4.1、「ゆったり飲食できる場所でリユース食器を使いたい」4.1である。

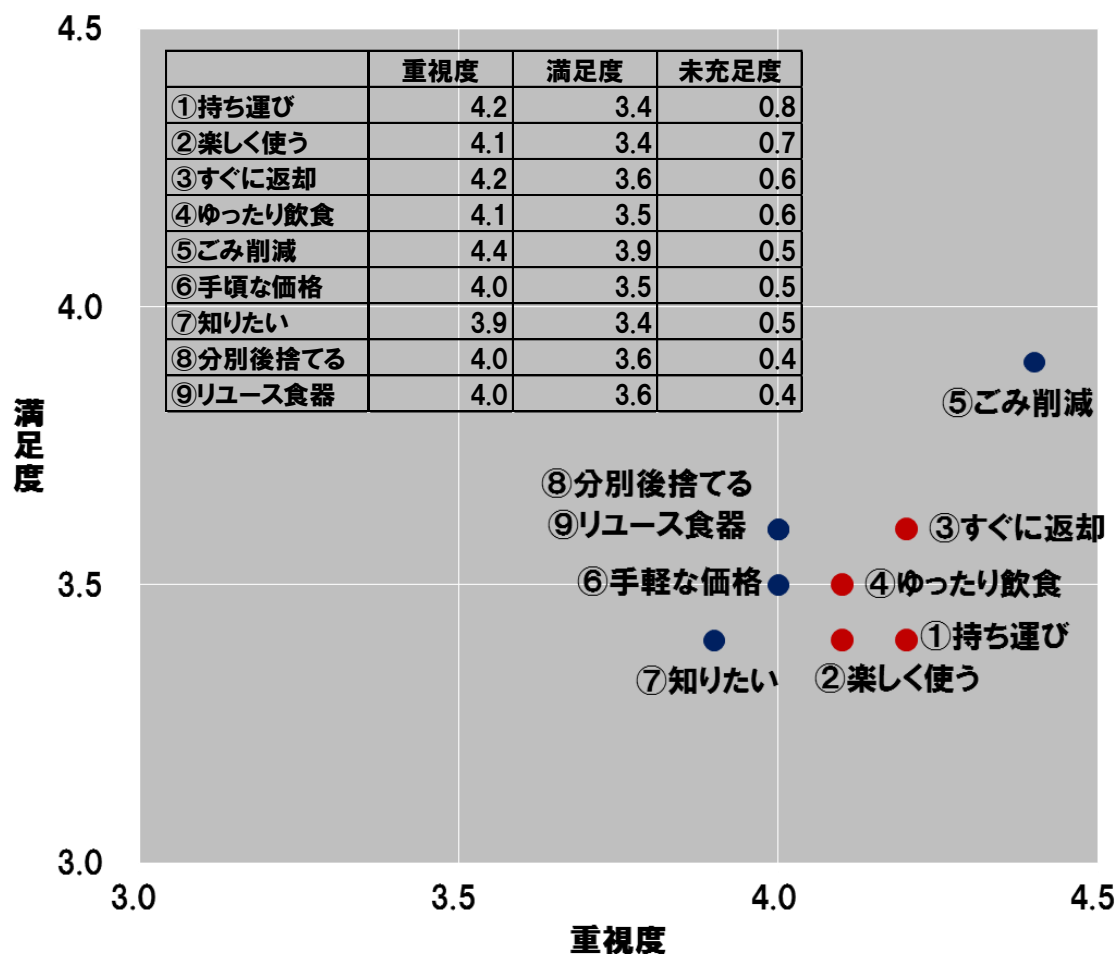
・他の項目も「イベント会場で出たごみは分別した上で会場のごみ箱に捨てて帰りたい」4.0、「手頃な価格でリユース食器を使いたい」4.0、「ごみの出ないリユース食器を使った飲食物を買いたい」4.0、「リユース食器について知りたい」3.9であり、重視度がやや強いことがわかった。

## ②満足度



- ・満足度は、いずれの項目も重視度を下回っており未充足であることがわかった。
- ・その中で満足度が高かったのは、「イベント会場から出るごみの削減に協力したい」3.9、「イベントで出たごみは分別した上で会場のごみ箱に捨てて帰りたい」3.6、「ごみの出ないリユース食器を使った飲食物を買いたい」3.6、「食べたらずくにリユース食器を返却したい」3.6であった。
- ・最も満足度が低かったのは、「持ち運びやすいリユース食器を使いたい」3.4、「返却すると特典や割引があるなど楽しくリユース食器を使いたい」3.4、「リユース食器について知りたい」3.4であった。

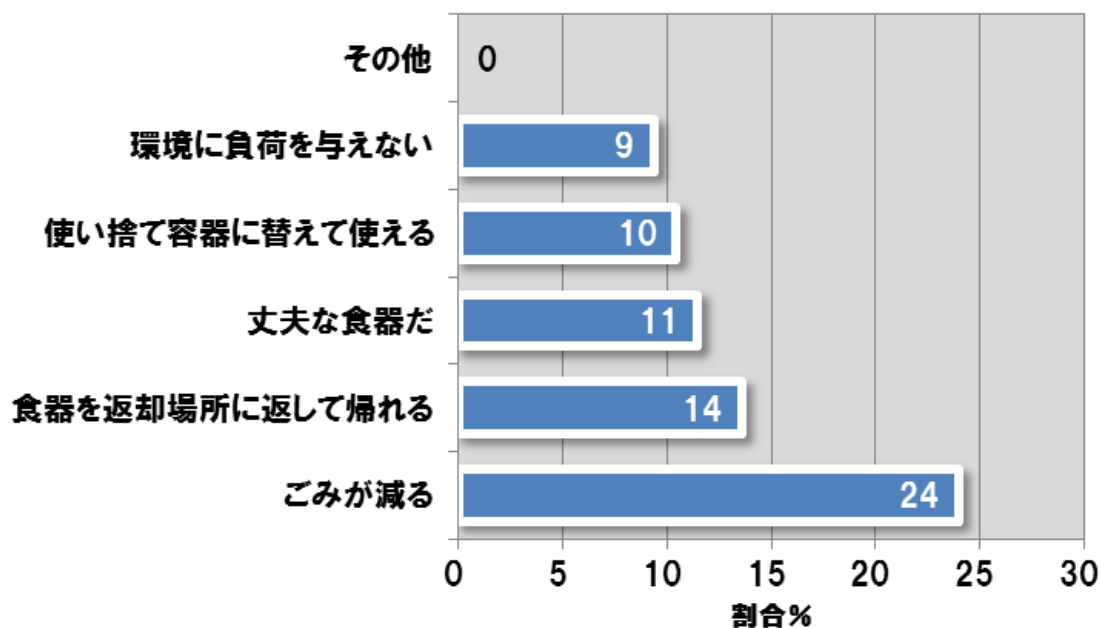
③未充足度



- ・重視度から満足度を引いた未充足度が高いのは、「持ち運びやすいリユース食器を使いたい」0.8、「返却すると特典や割引があるなど楽しくリユース食器を使いたい」0.7、「食べたらすぐにリユース食器を返却したい」0.6、「ゆったり飲食できる場所で使いたい」0.6であった。
- ・未充足度が低いのは、「ごみの出ないリユース食器を使った飲食物を買いたい」0.4、「イベント会場で出たごみは分別した上で会場のごみ箱に捨てて帰りたい」0.4、「イベント会場から出るごみの削減に協力したい」0.5「リユース食器について知りたい」0.5、「手頃な価格でリユース食器を使いたい」0.5であった。

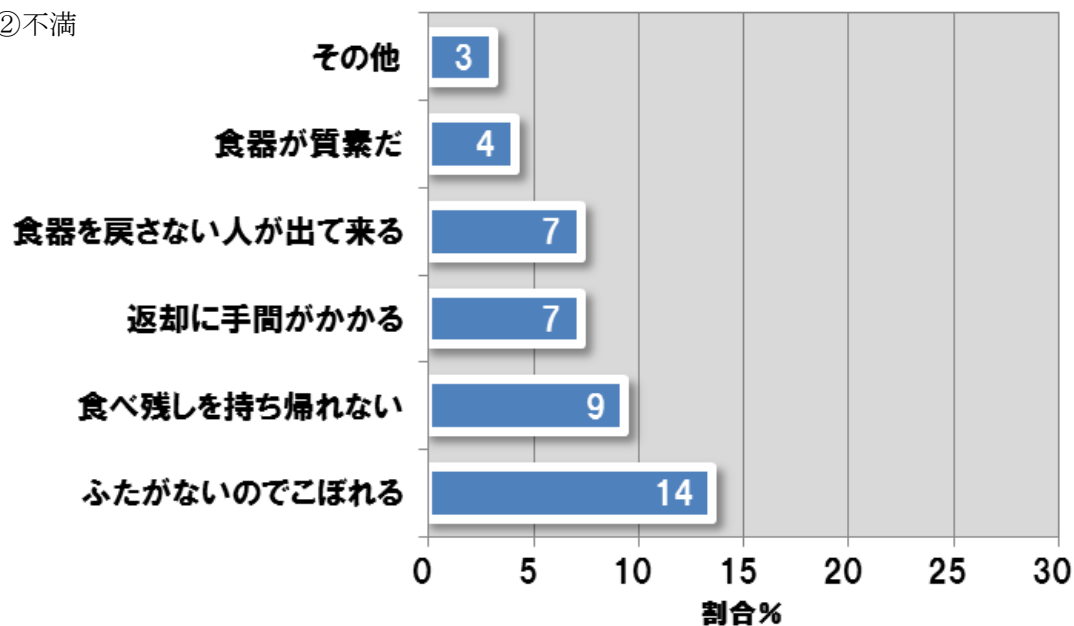
## 6. リユース食器に対する満足／不満

### ①満足



- ・松江市総合体育館内でリユース食器を使用した96人にリユース食器の満足を聞いた。そのうち、「ごみが減る」は24%（23人）、「食器を返却場所に返して帰れる」は14%（13人）、「丈夫な食器だ」は11%（11人）、「使い捨て容器に替えて使える」は10%（10人）、「環境に負荷を与えない」は9%（9人）であった。
- ・松江市総合体育館内でリユース食器を使用した人の4分の1の人がリユース食器はごみの削減に効果があると評価している。

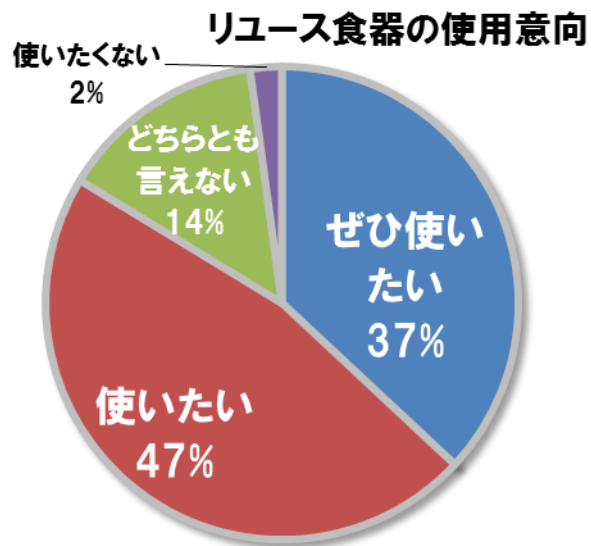
### ②不満



・松江市総合体育館内でリユース食器を使用した 96 人にリユース食器の不満を聞いた。そのうち、「ふたがないのでこぼれる」は 14% (13 人)、「食べ残しを持ち帰れない」は 9% (9 人)、「返却に手間が掛かる」は 7% (7 人)、「食器を戻さない人が出て来る」は 7% (7 人)、「食器が質素だ」は 4% (4 人) であった。

・松江市総合体育館内でリユース食器の使用した人のうち約 2 割の人が「ふたがないのでこぼれる」や「食べ残しを持ち帰れない」を不満に上げており、リユース食器の使いやすさに課題が見られた。

#### 7. イベントでのリユース食器の使用意向



・今後、イベントで「ぜひ使いたい」と回答した割合は 37% (68 人) あり、全体の 3 分の 1 がリユース食器の使用を強く望んでいる。

・「ぜひ使いたい」37% (68 人) と「使いたい」47% (86 人) を合わせると、全体の 84% (154 人) がリユース食器の使用を望んでいる。

## 8. 相関関係

### 重視度と使用意向

	購入したい	運びたい	特典ほしい	知りたい	手頃な価格	返却したい	ゆったりした	分別したい	削減したい	使用意向
購入したい	1.00	0.62**	0.50**	0.42**	0.53**	0.36**	0.57**	0.31**	0.43**	0.48**
運びたい	0.62**	1.00	0.60**	0.46**	0.62**	0.45**	0.48**	0.28**	0.55**	0.46**
特典ほしい	0.50**	0.60**	1.00	0.41**	0.53**	0.39**	0.41**	0.23**	0.44**	0.36**
知りたい	0.42**	0.46**	0.41**	1.00	0.53**	0.33**	0.37**	0.23**	0.39**	0.33**
手頃な価格	0.53**	0.62**	0.53**	0.53**	1.00	0.48**	0.55**	0.26**	0.40**	0.42**
返却したい	0.36**	0.45**	0.39**	0.33**	0.48**	1.00	0.56**	0.40**	0.46**	0.30**
ゆったりした	0.57**	0.48**	0.41**	0.37**	0.55**	0.56**	1.00	0.43**	0.41**	0.38**
分別したい	0.31**	0.28**	0.23**	0.23**	0.26**	0.40**	0.43**	1.00	0.32**	0.08
削減したい	0.43**	0.55**	0.44**	0.39**	0.40**	0.46**	0.41**	0.32**	1.00	0.35**
使用意向	0.48**	0.46**	0.36**	0.33**	0.42**	0.30**	0.38**	0.08	0.35**	1.00

\*は5%水準で有意、\*\*は1%水準で有意

(注) 上記表の表頭・表側の説明

表頭・表側の表記は下表設問の文章を省略している

表頭・表側	設問の文章
購入したい	ごみの出ないリユース食器を使った飲食物を買いたい
運びたい	持ち運びやすいリユース食器を使いたい
特典ほしい	返却すると特典や割引きがあるなど楽しくリユース食器を使いたい
知りたい	リユース食器について知りたい
手頃な価格	手頃な価格でリユース食器を使いたい
返却したい	食べたらすぐにリユース食器を返却したい
ゆったりした	ゆったり飲食できる場所でリユース食器を使いたい
分別したい	イベント会場で出たごみは分別した上で会場のごみ箱に捨てて帰りたい
削減したい	イベント会場から出るごみの削減に協力したい

・リユース食器の使用意向と相関関係がある（相関係数 $>0.4$ ）のは、「ごみの出ないリユース食器を使った飲食物を買いたい」、「持ち運びやすいリユース食器を使いたい」、「手頃な価格でリユース食器を使いたい」である。

## 用語説明

### ●相関関係

2つのデータ群に関連性がある時(例えば、片方が大きいと、もう片方も大きくなるなど)、その2つのデータ群には相関があるという。

### ●相関係数

相関の有無は、2つのデータ群を散布図にすることにより見当をつけることができますが、客観的に判定するには2つのデータ群の相関係数をもとめて判断する。相関係数は-1から+1の間の数値をとり、-1、+1の時は完全相関(順に逆相関, 正相関)といい、2つのデータ群に強い関連性が存在することと示し、一方、0の時は無相関といい、2つのデータ群に関連性がないと判断する。

### ●相関係数の大きさと相関の程度

$0.0 < |r| \leq 0.2$  ほとんど相関なし

$0.2 < |r| \leq 0.4$  低い相関あり

$0.4 < |r| \leq 0.7$  相関あり

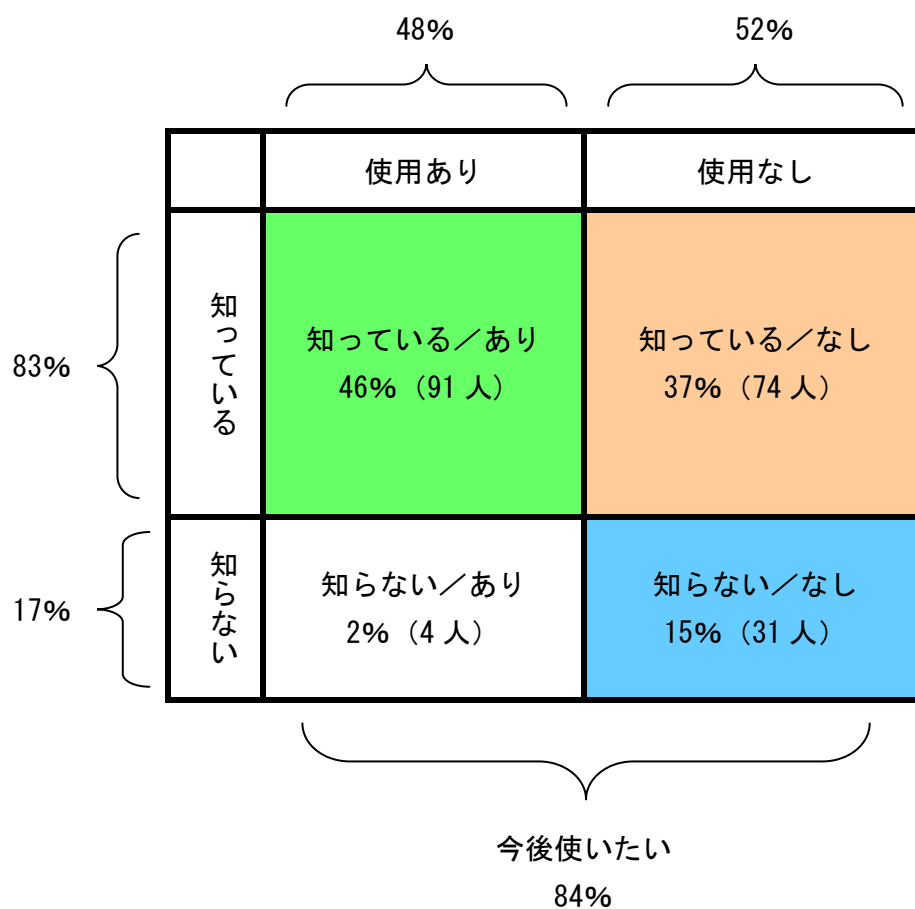
$0.7 < |r| < 1.0$  高い相関あり

1.0 または-1.0 完全な相関



[まとめ]

1. リユース食器の認知と使用経験の関係



注：知っている 83% = 知っている／あり 46% + 知っている／なし 37%

知らない 17% = 知らない／あり 2% + 知らない／なし 15%

使用あり 48% = 知っている／あり 46% + 知らない／あり 2%

使用なし 52% = 知っている／なし 37% + 知らない／なし 15%

- ・リユース食器を知っている人は、全体の 83%であった。
- ・松江市総合体育館でリユース食器の使用経験がある人は、全体の 48%である。
- ・リユース食器を知っていて松江市総合体育館で使用経験がある人は全体の 46%である。
- ・リユース食器を知らないで松江市総合体育館で使用経験がある人は 2%である。
- ・今後リユース食器を使いたい人は全体の 84%おり、そこから現在の使用経験者 48%を引いた 36%が新たにリユース食器を使いたい意向を示している。
- ・今後、イベントにおいてリユース食器を普及するためには、イベント主催者が積極的にイベントでリユース食器を使って、使用意向と相関関係が強い「ごみの出ないリユース食器を使った飲食物を買いたい」、「持ち運びやすいリユース食器を使いたい」、「手頃な価格でリユース食器を使いたい」のニーズに応えればよい。

## 2. 未充足の強いニーズ

	重視度	満足度	未充足度
①持ち運びやすいリユース食器を使いたい	○		○
②特典や割引など楽しくリユース食器を使いたい	○		○
③食べたらずぐにリユース食器を返却したい	○	○	○
④ゆったり飲食できる場所でリユース食器を使いたい	○		○
⑤イベント会場から出るごみの削減に協力したい	○	○	
⑥手頃な価格でリユース食器を使いたい			
⑦リユース食器について知りたい			
⑧ごみは分別して会場のごみ箱に捨てて帰りたい		○	
⑨リユース食器を使った飲食物を買いたい		○	

注1) ○印は重視度、満足度、未充足度が強いことを示す

2) 未充足度＝重視度－満足度

3) 太字は未充足の強いニーズを示す

・イベントの参加者にリユース食器の利用を促進するには、未充足の強いニーズである「持ち運びやすいリユース食器を使いたい」、「返却すると特典や割引があるなど楽しくリユース食器を使いたい」、「食べたらずぐにリユース食器を返却したい」、「ゆったり飲食できる場所で使いたい」に比べるとよい。

## 3. リユース食器に対する満足／不満

満足	不満
・ごみが減る	・ふたがないのでこぼれる
・食器を返却場所に返して帰れる	・食べ残しを持ち帰れない
・丈夫な食器だ	・返却に手間が掛かる
・使い捨て容器に替えて使える	・食器を戻さない人がいる
・環境に負荷を与えない	・食器が質素だ

・今後は、リユース食器に対する不満を解消し、イベントで使いやすいリユース食器にすることが望まれる。